

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】特開 2006-160164 (P2006-160164A)
 【公開日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-024
 【出願番号】特願 2004-357507 (P2004-357507)
 【国際特許分類】

B 6 0 H 1/34 (2006.01)

B 6 2 D 25/08 (2006.01)

B 6 0 S 1/54 (2006.01)

【F I】

B 6 0 H 1/34 6 5 1 Z

B 6 0 H 1/34 6 5 1 B

B 6 0 H 1/34 6 7 1 B

B 6 2 D 25/08 J

B 6 0 S 1/54 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 21 日 (2007.11.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 1】

図 1 において、車両のインストルメントパネル 1 の下方に自動車用空調装置 2 が設置された概略図が示され、その自動車用空調装置 2 の構成要素となる自動車用空調機 3 が車両の前席の前方で中心に配されている。この自動車用空調機 3 は、空調ケース 4 に下記する空気導入装置の外気導入口 5 が設けられ、また空調ケース 4 内に下記する温度調整手段が収納され、温調空気を吹出す各吹出用開口、この図にあっては、ベント吹出用開口 6 と左右のサイド吹出用開口 7 及びデフロスト吹出用開口 8 が形成されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 4】

足元吹出用切換装置 2 3 は、図 3、図 4 に明らかに示すように、前記クロスビーム 1 0 を前記エバポレータ 1 6、ヒータコア 1 7、エアミックスドア 1 8 より成る温度調整手段 1 9 の下流で、前記したベント吹出口 1 6 よりも上流に空調ケース 4 を貫通して設けられている。このクロスビーム 1 0 には、空調ケース 4 内に開口する切欠き 2 2 が形成され、制御ドア 2 1 の回動により、温調空気の流入が制御される。即ち、図 3 のような状態である暖房モードでは、切欠き 2 2 が開かれ、冷風と暖風との混合風である暖かい風がクロスビーム 1 0 内に流出される。そして多数の足元吹出口 1 2 から足元に向けてシャワーのように吹出される。